

積極的に活用しよう! 職場健康づくりのサポート施策

さまざまな支援・サービスを通じ、今年こそ「健康経営」実践を

従業員が健康で生き生きと働ける職場づくりを推進する「健康経営」は、今や企業に欠かせない経営戦略の一つ。宮城県や全国健康保険協会けんぽ(宮城支部)は、健康経営に取り組もうとする企業・団体を応援するさまざまな施策を打ち出しています。それらを活用して身近なことからスタートしましょう。

宮城県 県民も、企業も、共に健康で元気に!

スマートみやぎ県民会議 登録企業の健康づくりを支援

宮城県は、山積する県民の健康課題を解決し健康づくりを推進することを目的に、2016年に「スマートみやぎ健民会議」を設立しました。863の登録企業・団体(21年4月末現在)と共に、第2次みやぎ21健康プランに掲げる「歩こう!あと15分」「減塩!あと3g」「めさせ!受動喫煙ゼロ」の3つの目標のもと、健康づくりを自然に実践できる社会環境の整備に取り組んでいます。

しかし現状では、歩かない人が多い、食



※厚生労働省「特定健康・特定保健指導の結果」(2018年度)
※宮城県・旭プロダクション

会員になると、各種健康情報が届くほか、県のホームページに企業・団体名が掲載される。

「スマートみやぎ健民会議」会員 863企業・団体が登録
2021年4月末現在

協会けんぽ 企業と一緒に取り組む「職場健康づくり宣言」 約10万人が健康づくり実践中

宮城県内の中小企業を中心に、約4万1000の事業所が登録する協会けんぽ宮城支部。独自に推進する健康経営事業「職場健康づくり宣言」は2016年9月の開始以来5年目を迎え、登録する事業所数は1927、その被保険者数は約10万人に上ります(21年1月末現在)。事業開始当初と比較すると、「健康経営」の名称だけでなく、職場での健康づくりに対する理解が徐々に浸透しているといえます。



協会けんぽ宮城支部が推進する「職場健康づくり宣言」の登録には、六つの登録基準(図参照)を満たすことが必要です。その中で⑥の「事業所独自の健康増進対策に取り組むこと」の項目では、「栄養・食生活に関する情報提供や改善」「社内の分煙など禁煙環境の整備」「感染予防対策の徹底」「定期健診受診率100%達成」などに取り組む事業所が多い傾向にあります。一方で、「定期健診受診率100%達成」は実施していても、「社員の健康状態を把握し、健康づくりに向けた情報提供や指導を行っている」と回答する事業所

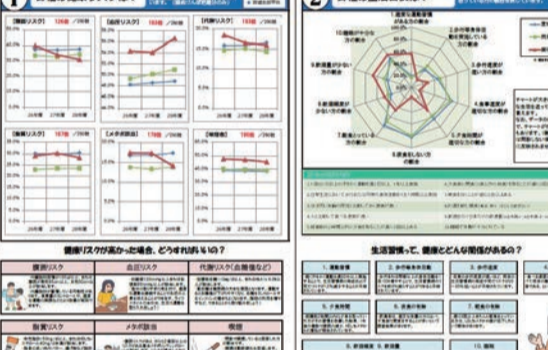
- #### 「職場健康づくり宣言」の登録基準について(6項目)
- 前年度の従業員の健康診断受診率が70%以上であること
 - 「職場健康づくり宣言」を社内外へ発信すること
 - 社内に健康づくり担当者を設置すること
 - 社員の生活習慣改善を支援すること
 - 検査・治療の推進をすること
 - 事業所独自の健康増進対策に取り組むこと

は少なく、定期健診の結果が十分に生かされていないことが伺えます。

協会けんぽでは、健康診断でメタボの該当者があつた場合、保健師を事業所に派遣し無料で指導を行うサポートを実施しています。協会けんぽは、健康経営推進の取組を支援する「健康経営アドバイザー」を養成し、事業者だけでなく事業主の皆さまにもご理解をいただかないと浸透は難しい。従業員の健康リスクを把握し、改善することは、生産性の向上や企業のイメージアップにもつながります。もっと積極的に支援を活用し、役立ててほしいと呼びかけています。

健康ルールで、社内全体に「気づき」を醸成

「職場健康づくり宣言」登録後も事業所内での健康経営推進につながるよう、協会けんぽではさまざまなサポートを行っています。その取り組みの一つが年一回送付する「チェックシート」で、事業所が登録した項目を実践できているかを確認し、必要に応じて項目の変更・追加を行います。また、登録事業所内の健診受診者の過去3年間の結果を宮城県平均、同業種平均と比較した「サポートシート」も提供し、従業員の健



従業員の健康状態が一目でわかる「職場健康づくり宣言サポートシート」の一例。健康リスクの把握や改善に役立てたい

健康経営勉強会 7月上旬開催予定

従業員の健康管理を経営的な視点で考え、実践する「健康経営」をテーマとした勉強会を開催いたします。詳細は6月告知予定です。健サポフレ登録企業の方には河北新報社よりご連絡させていただきますので、興味のある方はぜひご登録ください。

次回特集紙面(8月上旬朝刊)にて勉強会採録記事掲載予定

手軽に健康経営!

小さな「できた」が楽しく続く健康アプリ **SUNTORY+**

幅広い層が使いやすい無料サービス “サントリープラス”で、健康意識向上へ!

企業の健康経営担当者の悩みの一つが「健康行動を呼びかけても、多くの従業員には届かない」ということ。その課題をサポートするのが、法人向け健康習慣アプリ「サントリープラス」です。その特徴は、健康意識の低い人でも無理なく続けられる、超低ハードルな健康タスクとトクホなどの健康飲料の提供。タスクは生活習慣病予防の鍵となる「体脂肪」「血圧」「コレステロール」「血糖」の4項目に対応し、従業員自身が選んで登録。タスクを達成するとランクアップや称号バッジが付き、「やる気」を応援。飲料クーポンがもらえるうれしい仕掛けも、「サントリープラス」を導入した企業からは「楽しみながら続けられ、従業員の健康意識向上が期待できる」などの反響を呼んでいます。

「サントリープラス」導入企業の声
アルプスアルパイン株式会社 古川開発センター 古川 仁志さん
当社では、今年3月より「サントリープラス」を導入しました。アプリを活用する従業員からは「健康を意識するきっかけになった」と「トクホなどの健康飲料を飲む機会が増えた」と、ポジティブな感想がよく聞かれます。また、アプリは食事内容や運動の記録も必要なく、簡単に操作できることも好評です。現在、社内での主な利用者は40~50代となつていますが、今後は健康診断などの機会に利用者を増やしつつ、幅広い年代の健康増進につながってほしいと思います。

飲料クーポンは、企業内の専用自販機で健康飲料と交換できる

サントリープラスのお問い合わせは サントリープラス

健サポフレ登録募集

登録料・会費 無料

「健サポフレ」は、職場での健康づくりに関心のある企業・団体に登録いただく会員組織です。河北新報社が「健康みやぎサポーターズ」の協賛社や協力団体・専門家と「健サポフレ」をつなぎ、健康経営実践のサポートをはじめ、職場での健康づくりに役立つさまざまな情報をご提供します。

健康みやぎサポーターズとは
宮城県民は、メタボ該当者・予備群が全国ワースト2位。特に30~50代の働き盛り世代の健康課題が山積みです。河北新報社では「健康経営」の実践により職場における健康づくり推進を呼びかける「健康みやぎサポーターズ」を2019年4月より展開しています。第3期となる今年度は、取り組みを更に拡大し実施します。

順位	割合	県名
1位	34.09%	沖縄県
2位	30.90%	宮城県
3位	30.88%	福島県
	27.65%	全国

健康みやぎサポーターズ登録のメリット

- 「健康経営勉強会」などに、7月上旬開催予定 優先的に参加可能
- 「職場での健康づくり情報紙」などを職場まで、11月発行予定 優先送付
- 「健康みやぎサポーターズ」協賛社による、サービス提供・商品サンプルリング・ミニセミナーなど
- 健康経営・職場での健康づくりに関する、情報の提供・質問への回答・取り組み支援など
- 登録各社からの情報や取り組み事例を、河北新報特集紙面および特設WEBサイトで紹介

その他、健康づくりに関するさまざまなメリットを提供する、双方向の会員組織を目指します。

健サポフレ新規登録はWEBサイトから
https://www.kahoku.co.jp/ad/health-supply/entry/ 健サポフレ登録 検索